

エコアクション21

2023年度 環境経営レポート

(活動期間:2023年9月～2024年8月)



塗装・防水・看板 一美・意・識・感・覚一

 株式会社日立塗工店

作成日：2024年12月1日

目 次

1. 事業活動の概要
2. 実施体制図
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
- 5-1. 環境目標の実績推移
- 5-2. 環境経営の実施計画の実績及びその評価
6. 環境経営の活動の取組結果の評価及び次年度の取組内容
7. 環境関係法規への違反・訴訟等の有無
8. 代表者による全体評価と見直しの結果

1.事業活動の概要

1.1.事業所名称及び代表者氏名

事業所名称 株式会社 日立塗工店
代表者氏名 代表取締役 佐藤 雅彦

1.2.対象事業所及び電話番号

本社 〒317-0072 茨城県日立市弁天町2丁目2番3号
電話番号 0294-22-1515
FAX番号 0294-22-0702

1.3.環境管理責任者及び事務局

環境管理責任者 佐藤 祐太
事務局(担当者連絡先) 佐藤 裕美

1.4.事業内容

建設業(建築工事業、塗装工事業、防水工事業、とび・土工工事業、解体工事業)

1.5.事業規模

資本金 2,000万円
会社設立 昭和25年12月
従業員数 13
延べ床面積 746.52㎡
事業年度 9月1日から8月31日まで
売上高 2022年8月期 310,595千円
2023年8月期 295,747千円
2024年8月期 365,731千円

1.6.対象範囲(認証・登録範囲)

・事業活動 建築工事業、塗装工事業、防水工事業、とび・土工工事業、
解体工事業

2 技術者

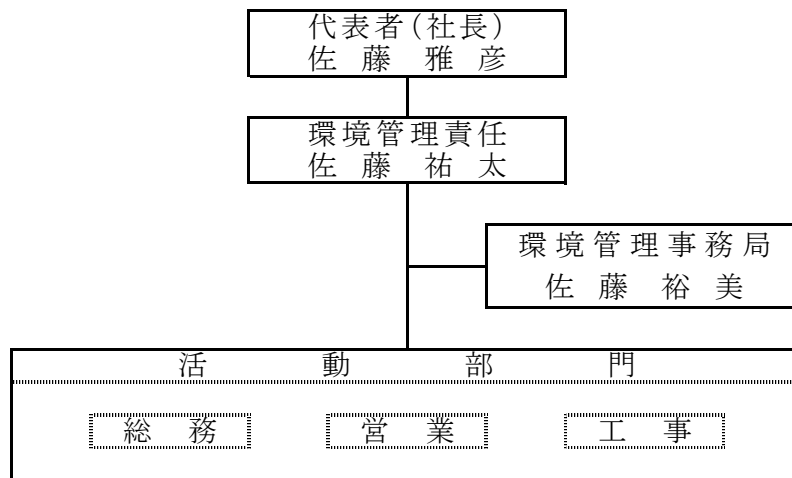
【国家資格者】

監理技術者	3名
1級土木施工管理技士	1名
2級土木施工管理技士	2名
1級建築施工管理技士	2名
1級建築塗装技能士	6名
登録建設塗装基幹技能者	4名
1級鋼橋塗装技能士	6名
1級アクリル防水技能士	3名
樹脂注入接着剤注入施工技能士	2名

【作業主任者】

危険物(乙4)	1名
有機溶剤作業主任者	9名
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	5名
鉛作業主任者	4名
石綿作業主任者	5名
足場の組立等作業主任者	3名
玉掛技能	3名
小型移動式クレーン運転技能	3名
高所作業車運転	5名

2.実施体制図



役 割 ・ 責 任 権 限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する総括責任 ・環境への取組を実施する為に必要な、人員、設備、費用等を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直しと社員への周知 ・環境目標及び環境活動実施計画書を承認 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・代表者による全体の評価と見直しの実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・経営システムの構築・実施・管理 ・実務上の権限を代表者から委任される ・環境目標及び環境活動実施計画書を確認 ・環境活動の取組状況を代表者に報告 ・環境関連法規等の取りまとめ表の作成・遵守評価の実施 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・環境活動レポートの確認 ・環境活動レポートの作成・公表 ・問題点の発見をしたら不適合・是正処置報告書を活動部門へ報告する ・環境経営システムへの自主的・積極的に参加
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境目標及び環境活動実施計画書を作成 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの取りまとめ ・環境活動のチェックリストへの記録運用管理 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境負荷を把握するため使用量の記録(表作成) ・実質上の手順書の作成 ・環境経営システムへの自主的・積極的に参加
活 動 部 門	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性の自覚 ・環境経営システムへの自主的・積極的に参加 ・想定した緊急事態対応の手順書のテスト・訓練 ・問題点の発見・是正・予防処置に対応する ・産業廃棄物の手配を総務部門に依頼(工事) ・産業廃棄物の委託業者への依頼(総務) ・主な塗料の管理・記録(総務) ・グリーン購入の管理・記録(総務) ・該当するSDSの管理・記録(総務) ・環境改善への意見提案や環境問題・異常時の報告

3. 環境経営方針

環 境 理 念

当社は昭和25年12月1日創業以来、塗装に関する専門工事会社として、常に地域とともに歩んで参りました。

事業活動や工事業活動を通じて環境負荷の削減を推進し、地域貢献として積極的にボランティアに参加し社会奉仕に取り組み、自主的に環境経営に取り組み、継続的に環境負荷の削減に取り組みます。

益々地域に愛される企業を目指して、以下の三つの「できる」を約束します。

1. 満足できる品質
2. 納得できる価格
3. 安心できる保証

基 本 方 針

当社は、塗装、防水、リフォーム工事を行う事業者として、地球環境保全の重要性を認識し事業活動のあらゆる面で環境の汚染防止及び資源の有効利用に取り組み、環境との共生調和を目指し、以下の基本方針を定めます。

1. 環境等、関連法令を遵守し、環境汚染の未然防止に努めます。
2. 事業運営に伴い使用される電気・化石燃料・水等のエネルギーの削減に取り組み、環境への負荷の軽減に努めます。
3. 廃棄物を適正に管理し、分別、リサイクルを推進し、排出量の低減に貢献します。
4. 化学物質の適正管理を進めます。
5. 環境経営システムを継続的に改善します。
6. 地域の美化の一環として花壇の整備や落書き消し等社会奉仕に取り組みます。
7. 全従業員に、環境負荷の削減に積極的に取り組めるように環境方針を掲示し、周知に努めます。

制 定 年 月 日 平 成 22 年 8 月 10 日

改 定 年 月 日 令 和 5 年 11 月 1 日

株式会社 日立塗工店
代表取締役 佐藤 雅彦

4. 環境経営目標

環境管理責任者:佐藤 祐太

NO	環境目標(項目)	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	責任者・担当者
			2022年9月～ 2023年8月	2023年9月～ 2024年8月	2024年9月～ 2025年8月	2025年9月～ 2026年8月	
			実績(基準値)	目標基準比 1%削減	目標基準比 2%削減	目標基準比 3%削減	
	売上高	千円	295,748				
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	34,195	33,853	33,511	33,169	環境管理責任者・環境事務局
	二酸化炭素排出量売上原単位	kg-CO ₂ /売上高(千円)	11.562	11.447	11.331	11.215	
	購入電力の削減	kWh	11,952	11,832	11,713	11,593	
				1.0%	2.0%	3.0%	
	ガソリン使用量の削減	ℓ	8,676	8,589	8,502	8,416	
				1.0%	2.0%	3.0%	
	軽油使用量の削減	ℓ	3,392	3,358	3,324	3,290	
				1.0%	2.0%	3.0%	
2	廃棄物排出量の削減	kg	17,140	16,969	16,797	16,626	環境管理責任者・活動部門
				1.0%	2.0%	3.0%	
3	水使用量の削減	m ³	151	149	148	146	
				1.0%	2.0%	3.0%	
4	環境貢献型塗料の使用推進 (使用件数/工事件数)	%	31.3	31.6	31.9	32.2	
				1.0%	2.0%	3.0%	
5	化学物質の削減(適正管理)	t	0.41	0.41	0.40	0.39	
				1.0%	2.0%	3.0%	
6	社会奉仕活動	件	4.0	4.0	4.0	4.0	環境管理責任者・環境事務局
				±0%	±0%	±0%	

備考 1)NO1とNO3のは、売上原単位で達成率にする。活動計画表で記録し、使用が多い時は原因を考えCO2削減に努める。

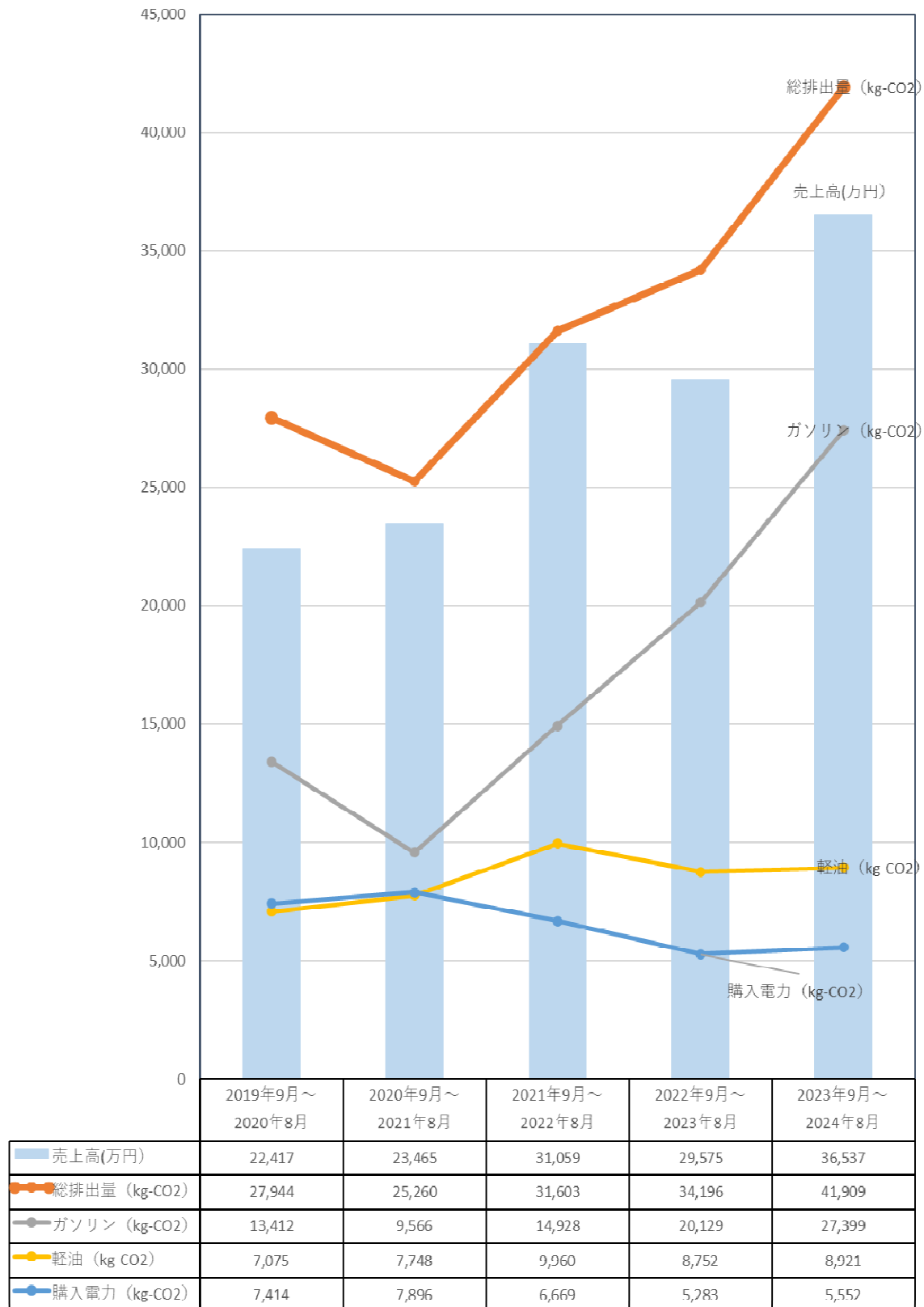
2)NO4とNO5は、実績が積み上がってきたので年間の購入及び施工件数に対しての割合を数値にして決定する。

3)化学物質の削減に対しては、環境負荷低減活動として環境貢献型塗料の普及、使用率向上を行う。

4)二酸化炭素実排出係数は、2021年度の(株)東京ガス電気 0.442kg-CO₂/kWhを使用する。

5-1.環境目標に対する実績推移

CO² 排出量の推移 (kg-CO²)



5-2. 環境経営の活動実施計画の実績及び評価

目 標	行 動 計 画	実施 評価	2023年度目標	2023年度実績	目標 達成率	目標の 達成状況	
			目 標 値	実績値			
売上高(千円)		◎	295,748	365,731			
1 二酸化炭素排出量削減(kg-CO2)	購入電力・ガソリン・軽油使用量	△	33,853	41,909		達成	
	二酸化炭素排出量売上原単位(kg-CO2/千円)	○	11.447	11.459	100%		
	購入電力の削減(kWh)	冷暖房設備の設定温度の適温化(夏27℃・冬22℃)	○	11,832	12,562	94%	未達成
		長時間退席するときは、PCの電源をOFFまたはスタンバイにする	◎				
		事務所照明の消灯徹底(LED交換)	◎				
		休憩室・トイレ等照明の使用最小化	◎				
		残業時使用照明の最適・最小化	○				
	ガソリン使用量の削減(ℓ)	各自車両清掃、距離確認月末実地報告	◎	8,589	11,810	73%	未達成
		急発進・急加速を抑制 アイドリングストップ運動	○				
		車両整備(タイヤ空気圧・オイル交換等)の徹底	○				
		高圧洗浄機・コンプレッサー・発電機など現場共有機の定期点検実施	○				
	軽油使用量の削減(ℓ)	洗車・整理整頓・アルコール除菌の推進	○	3,358	3,458	97%	未達成
		車両更新(低燃費車)	○				
		移動距離の長短	○				
		燃費の管理記録	○				
	2 廃棄物排出量の削減(kg)	ゴミの再資源化	○	16,969	15,340	111%	達成
再資源分別置き場の徹底		◎					
使用済み用紙の裏紙利用		◎					
使用済み塗料缶のリサイクル		◎					
ミスプリントの削減		○					
3 水使用量の削減(m3)	不必要に使用しない	◎	149	171	87%	未達成	
	定期的な漏水確認	○					
	清掃、アルコール消毒の徹底	◎					
4 環境貢献型塗料の普及(%) (増加)	ホームページなどで宣伝する	○	31.6	33.8	107%	達成	
	現場主任管理	◎					
5 化学物質の適正管理(t)	PCにて塗料管理	○	0.41	0.31	130%	達成	
6 社会奉仕活動	落書き消し隊参加	◎	4	4	100%	達成	
	使用済切手・プルタブの寄付	◎					
	社屋外植栽の手入れをする・特別支援	◎					
	社屋外近辺の清掃	◎					

◎:完全に取り組んでいる

○:ある程度取り組んでいる(半数) △:取り組みが足りない(少々)

×:取り組めてない

※二酸化炭素排出量の削減(電気、ガソリン、軽油)は売上原単位で評価する

6. 環境経営の活動の取組結果の評価及び次年度の取組内容

目 標	行 動 計 画	日 程	2024年度目標		評価及び次年度の取組内容	
			目標値	削減率		
売上高(千円)						
1 二酸化炭素排出量削減(kg-CO2)	購入電力・ガソリン・軽油使用量	通年	33,511	2.0%	二酸化炭素排出量は、売上原単位で把握した結果達成できた。現状維持で取組む。	
	二酸化炭素排出量売上原単位(kg-CO2/千円)		11.331			
	購入電力の削減(kWh)	通年	11,713	2.0%	エアコンの温度管理を実施し使用量と料金の把握をし、その都度対応する。就業時間なども考慮し削減に、影響するので効率化に努め維持する。	
						冷暖房設備の設定温度の適温化(夏27℃・冬22℃)
						長時間退席するときは、PCの電源をOFFまたはスタンバイにする
						事務所照明の消灯徹底(LED交換)
						休憩室・トイレ等照明の使用最小限化
	ガソリン使用量の削減(ℓ)	通年	8,502	2.0%	増車により、ガソリンの使用量が大幅に増えたため、目標を達成できなかった。毎月の走行距離の報告と、車内の整理整頓状況を月末に写真報告することで、各自意識を高められるようにする。	
						アイドリングストップ運動
						急発進・急加速を抑制
						車両整備の徹底
	軽油使用量の削減(ℓ)	通年	3,324	2.0%		
						高圧洗浄機・コンプレッサー・発電機など現場共有機の定期点検実施
						洗車・整理整頓・アルコール除菌の推進
						車両更新(低燃費車)
2 廃棄物排出量削減(kg)	発生毎	16,797	2.0%	適正な処理に取組み、廃棄物の分別化の強化維持を行う。		
					移動距離の長短	
					燃費の管理記録	
					ゴミの再資源化	
					再資源分別置き場の徹底	
3 水使用量の削減(m3)	通年	148	2.0%	削減意識を周知し無駄をなくす。使用量の記録と料金等を把握しその都度対応する。		
					使用済み用紙の裏紙利用	
					使用済み塗料缶のリサイクル	
4 環境貢献型塗料の普及(%)	工事毎	31.9	2.0%	環境貢献型塗料を積極的に使用提供する。		
					ミスプリントの削減	
5 化学物質の適正管理(t)	工事毎	0.40	2.0%	材料の入出庫缶数を各自表に記入し在庫管理に取組んでいる。さらに水性塗料の推奨、油性塗料の削減に取組む。		
					PCにて塗料管理	
6 社会奉仕活動	落書き消し隊参加	時期毎	4	±0%	社屋近辺の環境整備・美化に取組む。社会福祉事業の一環として、障害を持つ方の作成する寄せ植えプランターを定期購入。使用済み切手の寄附など継続する。	
	使用済み切手・ペットボトルキャップ・プルタブの寄付					
	社屋外植栽の手入れをする					
	社屋外近辺の清掃					

7. 環境関係法規への違反・訴訟等の有無

1. 当社に適用される法規制等の遵守状況

	環境関連法規等	対 象	要 求 事 項	評 価 対 象	評 価 内 容	評価結果
1	廃棄物処理法	産業廃棄物	委託先の許可証確認	廃棄物委託関係一覧	期限切れなし	○
			委託契約の締結	廃棄物委託関係一覧	5社との契約書あり	○
			マニフェスト票の管理	マニフェスト票	A、B、D、E票確認	○
					保存期間5年間	○
			産業廃棄物管理票交付等状況報告	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	提出	○
			保管の基準	保管場所の確保、必要事項の掲出	基準に従い確認	○
2	PRTR法	指定化学物質	SDSの取り寄せ及び提供	PRTR対象物・非対称物(製品名称&整理番号)綴り保管	SDSの確認	○
3	消防法	危険物貯蔵所	設置届出	危険物貯蔵所設置許可申請書	評価対象なし	-
			貯蔵品と指定数量(4.082未満)の届出	危険物貯蔵所保管品一覧表	評価対象なし	-
			定期点検	危険物貯蔵所定期点検表	随時確認	○
4	建設リサイクル法	分解・解体工事	解体工事業の登録	建設業法の許可申請	申請日	○
			技術管理者の選任	有資格者証明書	証明書の確認	○
			元請負業者から発注者への事前説明	解体工事等の計画書	計画書の確認	○
			建設工事請負契約書	法第3条及び省令第4条に基づく書面参照	評価対象あり	○
			下請負業者への告知	下請負業者告知書	評価対象あり	○
			完了報告	再生資源化等が完了した年月日	2024年1月31日	○
				再生資源化等をした施設の名称及び所在地	(株)アダチ商会 桜川市加茂部408	○
				再生資源化等が完了した年月日	2024年1月31日	○
				再生資源化等をした施設の名称及び所在地	(株)國分筑波リサイクルつくば市大杉字谷津1865番外3筆	○
				再生資源化等に要した費用	¥3,882,120	○
5	家電リサイクル法	家庭用空調機、テレビ、洗濯機、冷蔵庫	廃棄時の適正処理	家電リサイクル券	該当なし	-
				廃棄物処理費用	金額	-
6	フロン排出抑制法	業務用空調機	運用時のフロンの適正処理	簡易点検(点検表)	フロンの漏れ発見(3か月毎)	○

評価結果 ○: 遵法 ×: 不適合(是正) - : 評価対象外

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 環境管理責任者から代表者への報告内容

	項目 / 確認文書・記録	報告内容
1	環境経営目標活動 環境目標一覧表 2023年度環境活動計画・実績表	二酸化炭素排出量削減は、車両の入替えや増車等の影響からガソリン、軽油の使用量が増え未達成だったが、売上原単位では目標値に近づけられた。その他廃棄物の排出量削減、環境貢献型塗料の推進普及、化学物質等の管理等の目標を達成できた。水の使用量は今後も無駄なく使用するように周知し削減に努める。社会奉仕活動は維持継続し貢献する。
2	環境関連法規等の状況及び遵守評価 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守評価	該当する法令について、遵守することができた。
3	問題点の是正・予防 不適合・是正処置報告書	別途報告通り(記録)
4	外部コミュニケーション・対応記録	別途報告通り(記録)
5	取引先、業界、関係行政機関、その他外部動向	特になし

2. 代表者から環境管理責任者への指示事項

	項目	変更の必要性	指示事項
1	環境経営方針	無	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標は2022年度実績値を基準値として設定すること。 ・ガソリン・軽油使用量は現場までの距離増に応じて増加し削減率としては未達成だったが、売上原単位での二酸化炭素排出量が目標レベルにできたことは活動の大きな成果といえる。より一層、各々が自覚を持ち取り組むこと。 ・水の使用量に関しては、無駄な使用や漏れがないか点検するなど、状況の把握に努め必要に応じ対処すること。 ・社会奉仕活動も引き続き取り組み貢献すること。 ・グリーン調達に関しては、数値の変動も少なく目標項目から外し、記録継続のみとすること。
2	環境経営目標及び経営計画	無	
3	実施体制	無	
4	その他	－	